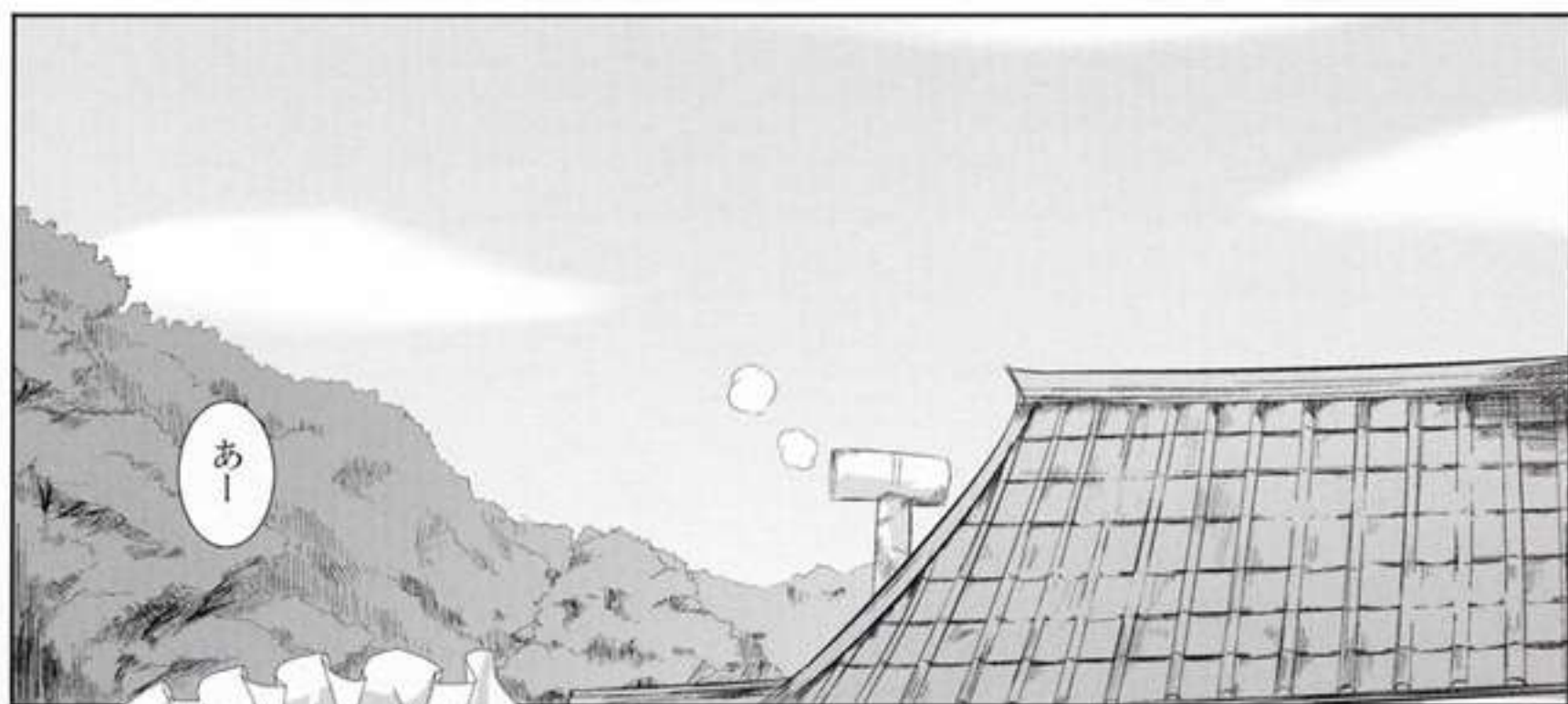


# 幻想 綺譚



VI

成人向  
Adult Only



あー



暇だな

こんにちは



騒がしいのが  
来ないのは  
ありがたいが  
客もいないのは  
問題だな

営業中



相変わらず  
暇そうね



ガラガラ

お、  
めずらしい  
客だな



いらっしやい

ええ

今日は何か  
探し物かい

なにか  
お屋敷で  
使えそうな物  
はないかしら？



へえ  
ティーカップ  
なんてあるのね

いいわ  
それを頂ける  
かしら？

毎度  
ありがとう



たまには  
来てみる  
ものね

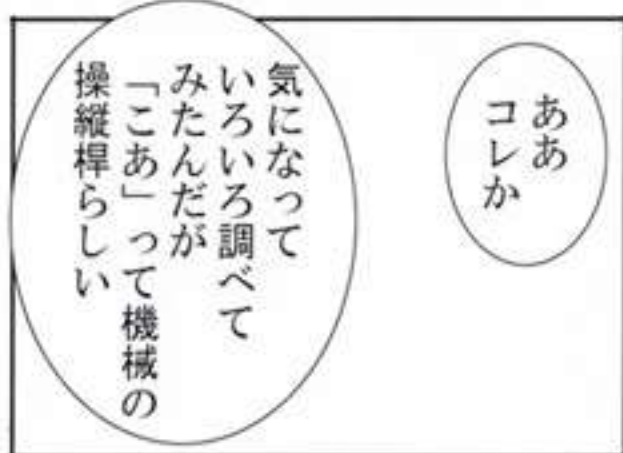
あら？

それは  
何かしら？



「コア」？

それを使うと  
何と…



ああ  
コレか

気になって  
いろいろ調べて  
みたんだが  
「コア」って機械の  
操縦桿らしい



そうだな…  
食器とかは  
どうだ？

食器ね…

ちようどいい  
ティーカップが  
はいつてるんだが



機械に乗って  
人間や妖怪と

ハハハ

弾幕決闘が  
出来るらしいッ

予想図

おっばいばい

IV



へえ

何だ  
反応が薄いな

そんなの  
なくても決闘は  
出来るじゃない

ま、まあ  
そうなんだが

それにそれだけじゃ  
出来ないんでしょ？

うぐ…



あ…  
いい香り…



香水みたいね

ちよつと  
試しても  
いいかしら



あら…？

変わった  
小瓶ね



ん…?

どうしか  
したか



ねえ  
ねえ

これは  
何かしら…?



ご、  
ごめんなさい

急用を  
思い出したの  
すぐ帰るわ

食器は  
また今度  
取に来るから



その小瓶か？  
確か拾いもの  
だったと思うが

何かは  
わからないの？

名前は  
「ギルロイ」だな  
あとはわからない

そ、  
そう…



顔が  
赤いぞ？

どうした？

フッ

きヤッ!?





肩を触られた  
だけで…

だ、大丈夫か？

私…  
いつちやたの…？

へおたん



あ…

びくッ

あッ

うそ…

びくッ



お願い…

ん…

あッ

イツたのに…  
まだ…  
おさまらない…

見ないで…

ダメ…  
また…







ほら  
お尻をこっちに  
向けて

びくっ

こ、これで  
いい…？

ああ  
口で出来るかな？

やってみる…



ちゅぽぽ

ん…



おっきい…  
こんな…

びくっ

びくっ





すごく  
いやらしい  
格好だな

ほか…

ピクピクしてる  
気持ちいい…?

ふあ

んッ

ああ

んっ

クスッ  
もつとして  
あげる

びり

びり



まだ触っても  
ないのに  
こんなに濡らして

だって…

奥から  
溢れてるぞ

イヤッ  
広げないでッ

ちゅ

ふあ

ちゅ

んーッ

ぢゅ

ぢゅびり

んっ

口でしながら  
感じてるのか

びっ

ううッ

ヒクついてるぞ

そんな  
こと…

んんッ

ぢゅぽっ

ほら  
また溢れてきた

んうッ

びっ

ひあッ

いっぱい  
精液が

ああッ

んっ

ぢゅぽっ

うッ

もつと  
強く…ッ

そろそろ  
イクぞ

んっ

ぢゅぽっ

びゅっ

んっ

びゅっ

すごい  
匂い…

まだ  
出てる…

んぐッ

ぢゅぽっ

くッ

だ、  
出すぞッ

んーッ



えっ

じゃあ次は  
こっちの番だな  
足を開いて  
くれるか？



あっ

ん…



すごくいやらしい  
匂いだな

やだ…  
そんなこと  
ない…んッ

こ、これで  
いい…？

あ、あなたが  
そうしろって…

まるで発情した  
雌犬だな

そんなに  
広げて恥ずかし  
くないのか？

うう…

冗談だ  
ほら、おいで

お願い…  
私…もう…

もう…  
なんだ？

わ、わかる  
でしょ

ちゃんと  
言うんだ

アあああッ

やあッ

うう…

あ、あなたのを

い…  
挿入れて…  
欲しいの…

よし  
じゃあご褒美だ  
力を抜けよ

は、はい  
ッ

ぐい

イツ

ぢゅぽいッ

んう〜ッ

ぢゅぽいッ

ぢゅぽいッ

ぢゅぽいッ



きゃ

んくッ

ひヤッ



ぶっ

ふアッ

はッ

ぶっ

くッ

ひッ

ぶっ



あああッ

んんッ

ぢゅッ



ぢゅぽ

ああッ

アッ

ぢゅぽ

アッ

アッ

あッ

ぢゅぽ

アアッ



やッ

ハゲしッ  
過ぎ…ッ

ぢゅッ



やだッ  
あッ

アッ



アッ

あッ

ヴッ

あッあッ

クッ

ヴッ



だめッ

ヂュッ

アッ

あアアッ

んんんッ

いッ  
イクッ

やらあッ

んんッ

ヂュッ

ヂュッ

ヂュッ





あッ

だめッ

ずッ

アア

奥にッ

イヤッ

ずッ

おくに  
あたるのおッ

ずッ

ひッ

だめえッ

ずッ

ああ〜ッ

ずッ

ひッ

いやあッ

らめッ

あぁ

びくッ



いッ  
あッ

イクッ  
イクうッ

あッ

ひッ

ドクッ

ドクッ

ドクッ

ああアアア〜ッ

ああッ

アッ  
アッ

当たり前よッ!



コイツは  
売らずに  
封印だな

——しかし

まさか  
こんなことに  
なるとはな

そんな  
危険なもの  
さつさと  
捨てなさい



ばかっ

ほお



いいのか  
そんな口の  
聞き方をして

当たり前でしょ

こんなもの  
店に置くから…

ほれ



ち、ちよつと  
冗談でしょッ

ん？  
どうした

やだッ

また…ッ

いやあああ…ッ



その後—

えッ  
お嬢様ッ

それは  
まさか…

クスッ♡

もう  
イヤァァ…ッ

レミアアが  
お買取り



**231179=ROCK**